



千葉県PRマスコット
キャラクター チーバくん
千葉県許諾 第A3-16号

バスで行く！

千葉の小さな旅

BUS

第1回



今回の路線

JRバス関東 南房州本線 安房白浜行



館山で活躍中！ JRバス関東のいすゞエルガ

今回ご紹介するのは、JR館山駅を出発して、安房白浜を目指す路線バス。ジェイアールバス関東館山支店（JRバス関東）が運営する路線です。この路線で中心的な車両として活躍しているのがこのいすゞエルガ（エルガ KL-LV280L1）です。エルガは、ジェイ・バスが製造し、いすゞ自動車が2000年から販売している路線・自家用大型バスです。

路線バスはとにかく力持ち。最大約70～80人のお客さんを乗せて山道も登るため、エンジンはV型8気筒エンジン（主に大型乗用車に使われているエンジン）を搭載し、その排気量はなんと15,000cc以上。車体の長さは約10m、幅は約2.5mです。

観光地を巡る路線であるため、座席は2人掛けシートが中心。ワンステップ（乗客が乗降しやすいように乗降口のステップを1段だけとしたバス車両）・ノンステップ（床面を超低床構造として乗降ステップをなくし、高齢者や児童にも乗り降りが容易なバス車両）が一般的な仕様となっています。

また、今回ご紹介しているこのエルガの外見の大きな特徴は、写真をよく観察していただくとわかりますが、前面にサイクルラックが取り付けられている点。バスの利用客の自転車を積載できるようになっています。運賃の他にサイクルラック利用料100円を支払うことで利用することができます。これも観光地を走る路線バスならではの仕様です。



◀ 東京駅、新宿駅から高速バスも利用することができます。



▶ 館山に到着した高速バスは、そのまま館山発の路線バスとして使用されることもあります。

路線バスのワンポイント知識

路線には乗客が利用しやすいよう多くのバス停がありますが、実はバス停を設置する場所にはさまざまな注意点がありません。

例えば「車道を走る一般車両の通行を妨げない」「歩行者の通行を妨げない」「バス停自体の安全性が高い」「乗客が安全に乗り降りできる場所であること」「バスを移動しやすい場所であること」などに配慮されて設置場所が選ばれています。

房総半島最南端に建つ 野島埼灯台を目指して—

今回のバスで行く小さな旅のスタートは、JR内房線の館山駅。改札のある駅舎2階の窓からは、両側にヤシが生えた通りがまっすぐと伸び、その向こうには北条海岸の海が見えます。

バスターミナルがあるのは駅の東口。広々としたロータリーがあり、気分が盛り上がります。

今回ご紹介するのは、館山駅を出発し安房白浜を目指す路線バス。終点まで約40分の道のりです。

出発したバスは、館山の市街地を走り、やがて田畑、山間部へと風景が変わっていきます。高い建物も少ないため、とても見晴らしが良く、また信号も少ないため快適なバスの旅が楽しめます。

路線の途中では南総里見八犬伝の題材となった里見氏が居城とした館山城や、安房神社、広大な森を有する千葉県立館山野鳥の森、白浜の屏風岩などの名所のすぐ近くを通ります。途中下車しこうした館山の魅力に触れることもおすすめです。

「相の浜」停留所を過ぎると、いよいよ海の気配が濃厚になってきて防風林の濃い緑が目立ち始めます。

「白浜の屏風岩」停留所を過ぎたら、バスは海と並行するように走ります。今回の目的地、野島埼灯台はここからあと少し。野島埼灯台口停留所からは遠くに真っ白な灯台の姿を見ることができます。

●白浜の屏風岩

「白浜の屏風岩」停留所を降り、キャンプ場に挟まれた海に伸びる路地を下っていくと、小さな砂浜の向こうに見たこともない岩の風景が広がります。洗濯板のような岩盤が幾重にも切り立ち、その姿はまるで屏風のように。波の侵食に強い泥板岩と弱い砂岩の互層が隆起したものです。1955年12月に千葉県の天然記念物に指定されました。

●所在地／南房総市白浜町根本字石舟地先海岸



▲潮の満ち引きで表情が変わります。

安房神社前
相の浜

●安房神社
館山野鳥の森

南房総の地震隆起段丘

白浜の屏風岩

南房総の地震隆起段丘
県指定天然記念物。



スタート
館山駅

館山駅

館山城
城山公園

館山運動公園



▲ふれあい野鳥館にはジオラマ展示や野鳥情報コーナーなどがあります。

今回の旅はJR内房線館山駅からスタートです。館山駅は南欧風の洒落た駅舎で有名。関東の駅百選に選ばれています。



◀館山駅の名物駅弁の「房州名物くじら弁当」¥1,100(税込)



●喫茶マリン TEL.0470-24-0622

●館山城

館山城はJR館山駅から徒歩約30分。今回ご紹介したバス路線の「下町」停留所で下車すれば、約10分ほどで行くことができます。館山城は南総里見八犬伝の題材となった里見氏が居城とした場所。見晴らしの良い丘陵地にあり、周辺に広がる日本庭園には季節ごとに梅や桜、ツツジなどが咲き誇り、花の名所としても有名な場所です。



▲お城の中は八犬伝博物館に なっています。

●問い合わせ／館山市館山362番地先 TEL.0470-22-8854

●安房神社

「安房神社前」停留所から約5分。安房神社は社の言い伝えでは2670年以上の昔、天富命が阿波の忌部一族を率いて安房国を開拓しに来た際、自分の祖先である天太玉命を祀るために建てられたものと言われています。関東全域の信仰を集めており、交通安全・開運・厄除・家内安全・商売繁盛などを願う人々が訪れます。

●問い合わせ／館山市大神宮589番地 TEL.0470-28-0034

●千葉県立館山野鳥の森

安房神社のすぐ隣にあるのが、館山野鳥の森です。22.4haの広大な常緑広葉樹の森で、夏にはサシバやホトトギス、冬にはツグミやノスリなどの渡り鳥を観察できるほか、年間を通して野鳥に出会うことができます。

●問い合わせ／館山市大神宮553番地 TEL.0470-28-0166

ゴール

野島埼灯台口 安房白浜

めがね橋
県指定有形文化財。

●野島埼灯台
〈裏表紙でご紹介〉



※現地の時刻表に基づき取材をしています。曜日・季節・天候により時刻表・ルートが変更になる場合があります。



白鳥の灯台とも呼ばれる房総半島最南端に建つ灯台

「野島崎灯台口」バス停から約5分。房総半島の最南端、野島崎に立つ野島崎灯台は、1869年にフランス人技師、ヴェルニーの設計によって作られた日本最初の洋式8灯台のひとつ。八角形の美しい灯台は「白鳥の灯台」とも呼ばれ、日本の灯台50選にも選定されている、今も現役の灯台です。全国に16基しかない登れる灯台のひとつで、高さ24mの螺旋状の階段を登ると展望台に。眼前にはこの灯台を指標にして東京湾を行き来する大型船や、どこまでも海が広がる雄大な景色が望めます。

灯台の周辺は南房総国立公園に指定されていて、整備された歩道もあるので散策にも絶好の場所。海沿いの岩のてっぺんには、まるで浮かんでいるように白いベンチが設置され、目の前一面に海が広がる風景を堪能することができます。

また、厳島神社や灯台の歴史、機能・役割などを学ぶことができる灯台資料展示館、源頼朝が身を寄せて

雨を凌いだといわれる「源頼朝の隠れ岩屋」なども見どころです。

そして灯台の山側には多くの飲食店が集まり、地魚や海産物など海辺ならではのグルメを堪能することもできます。



▲灯台の上からの眺望はまさに絶景で海風がとても気持ち良く、登ってみる価値があります。



▲隣接している展示資料室「きらりん館」に展示されているフレネルレンズ。



▲房総半島最南端に立っている灯台です。

●問い合わせ／野島崎灯台

南房総市白浜町白浜630 TEL.0470-38-3231



イチ押しグルメ

割烹 河太郎

白井市根664-3 TEL.047-491-8914

●営業時間／11:30～15:00, 17:00～21:30

●定休日／月曜日(祝日営業)

●URL／<http://kawataro.com/>

Instagram [kawataro.official](https://www.instagram.com/kawataro.official)

美味しい和食を楽しむ晴れの日!

割烹 河太郎は梨生産量日本一の白井市で創業37年の日本料理店です。

店内大型いけすより、ふぐ・鯛・ヒラメ・ハモ・伊勢海老など旬の魚や、国内産地より生きたまま直送の活うなぎ、国産蕎麦粉のみで手ごね手打ちの十割蕎麦、最高級サラダ油・綿実油100%を使用して銅鍋で揚げた旬の食材の天ぷらが評判です。

お宮参り、節句、七五三、ご結納、古希、米寿、祝賀会などの晴れの日。そして法事、忘年会、新年会、歓送迎会、暑気払い等の宴会にも絶好の場所です。Instagramにはその時々に入れた食材や、その食材を使ったおすすめメニューなどが常に紹介されていますので、この情報をチェックしてお出かけになるのもいかがでしょうか。



《バスで行く! 千葉の小さな旅》今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「バスで行く! 千葉の小さな旅」の第1回をご覧ください。



今回、バスの旅の目的地として登場した野島崎灯台。その美しさから付けられた愛称はどれでしょうか。次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 白鳥の灯台
- ② 白鷺の灯台
- ③ ウミネコの灯台

取材協力・撮影協力・写真提供／ジェイアールバス関東館山支店、喫茶マリン、城山公園管理事務所、安房神社、千葉県立館山野鳥の森、公益社団法人燈光会 野島崎支所

確かな“きずな”を、未来へ。



ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌

検索

LINEからも「バスで行く! 千葉の小さな旅」を配信しています。

LINE 公式アカウント



正解は→① 白鳥の灯台

2023.7
(次回発行/2023年8月18日)